



関門地域(下関市・北九州市)の未来をつなぐ

下関北九州道路

関門海峡を河川になぞらえると...

- 関門地域は、川幅が0.7~2.0キロメートル、延長が19キロメートルの河川により分断されているといえます。
- 左岸、右岸を結ぶ道路は、ほぼ同じ位置で渡河する“関門橋”と“関門トンネル”の2つのみです。

国内の河川と比較すると...

- 例えば、新潟市内の信濃川約23キロメートルの区間には21本の道路が、阿波市から徳島市の吉野川約22キロメートルの区間には18本の道路が整備されており、周辺地域の交流・連携を支えています。



下関北九州道路について

- 下関北九州道路は、古くから一体の都市圏を形成する下関市・北九州市の都市部を結び、東アジアのゲートウェイとしての関門地域の強みや特色を活かし、更なる地域の自立的発展に大きく寄与します。
- 関門地域における安定的な交通機能の確保や本州と九州の連絡を強化し、大規模災害時における代替機能の確保の観点からも、重要な役割を担う道路です。

◆本資料に関するお問い合わせ

下関北九州道路整備促進期成同盟会	
山口県土木建築部道路建設課	TEL.083-933-3714
福岡県土木整備部道路建設課	TEL.092-643-3660
北九州市建築都市局計画部都市交通政策課	TEL.093-582-2518
下関市都市整備部都市計画課	TEL.083-231-1932
下関北九州道路建設促進協議会	
(一社)九州経済連合会 社会基盤部	TEL.092-761-4261
中国経済連合会 社会基盤担当	TEL.082-242-4511

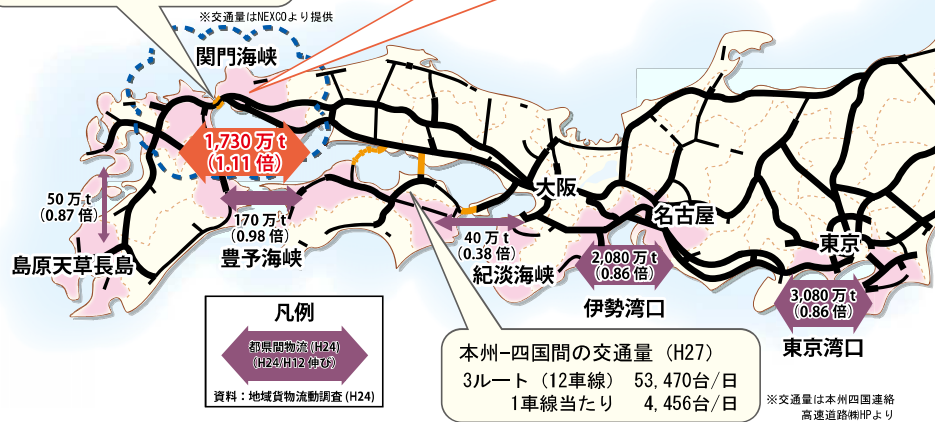
本州-九州の大動脈である 関門橋・関門トンネルは海峡を越えて

関門海峡は本州と九州を結ぶ大動脈

- 本州-九州間の交通量は、本州-四国間の約1.2倍、一車線あたりでは約1.8倍となっている
- 山口-福岡間の総貨物量は、近年では1.11倍と伸びている (H24/H12)

本州-九州間の交通量 (H27)
2ルート (8車線) 65,783台/日
1車線あたり 8,223台/日

本州と九州を結ぶ大動脈



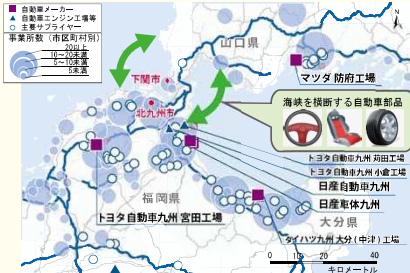
海峡を越えた交流・連携

産業 海峡を越えた産業連携

イギリスやフランスに匹敵する自動車産業!

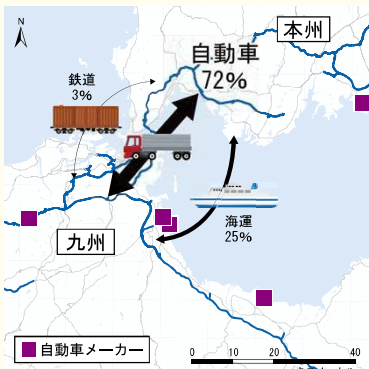


海峡を越えた部品供給!



海峡を横断する部品輸送の7割以上が自動車輸送!

(部品重量の割合)



地域の生活や経済活動を支えています。

生活 海峡を越えて一体となった生活圏

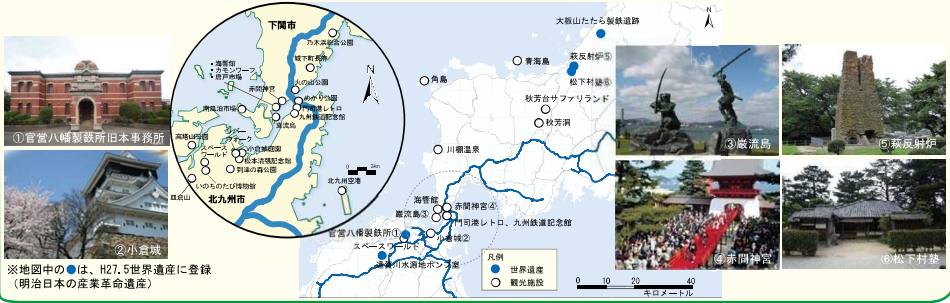
わずか約2kmの海峡を挟んで約120万人の都市圏を形成!
北九州市-下関市間の通勤・通学の往来が約1万人



防災 海峡を越えた防災の取組み



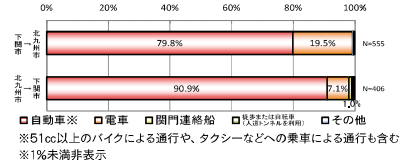
観光 海峡を挟んで歴史・文化遺産などが多数存在



海峡を横断する際の移動手段は大多数が自動車

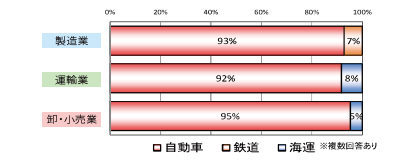
住民アンケート (無回答を除く)

○下関市から北九州市、北九州市から下関市への移動手段の約8割は自動車です。



企業アンケート (無回答を除く)

○関門海峡を横断して貨物を輸送するときには、9割の企業が「自動車」を利用しています。



生命線である2本のルート(関門橋・関門トンネル)は補修工事や事故のため、通行止めが起きて

おり、物流や交通に支障をきたしています。

老朽化する関門橋・関門トンネルの頻発する通行止め

通行止めになれば、地域の道路交通がマヒします

関門トンネルの通行止め時間は全国の高速道路ワースト1位 (H26) ※
要因別: 工事 (1位: 1,440時間)、事故・その他 (8位: 49時間)

○関門トンネルや高速道路が通行止めになると、国道2号・3号・199号など幹線道路が著しく渋滞します。このため、下関・北九州地域全体の物流や交通に支障をきたします。

※対象道路: NEXCO3社が管理する高速自動車国道及び一般有料道路 出典: 国土交通省HP

■関門橋 (延長1,068m)
・開通: 昭和48年11月 (42年経過)
・交通量: 37,290台/日 (H27年度)

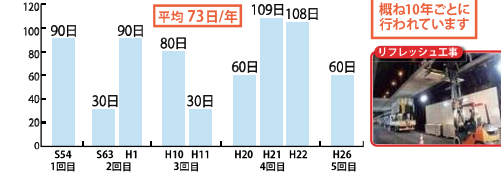
■関門トンネル (延長3,461m)
・開通: 昭和33年3月 (58年経過)
・交通量: 28,493台/日 (H27年度)



○関門橋の通行止め状況 (H23～H27年度)

日付	原因	備考
H28.01.24～25	積雪	上下線 約38時間半通行止め
H27.08.25	台風	上下線 約14時間通行止め
H26.02.08	積雪	上下線 約4時間半通行止め
H25.11.16	事故	上り線 約4時間半通行止め
H25.02.13	事故	下り線 約3時間半通行止め
H24.12.07	事故	下り線 約2時間半通行止め

○関門トンネルのリフレッシュ工事による全面通行止めの状況 (年平均通行止め日数)



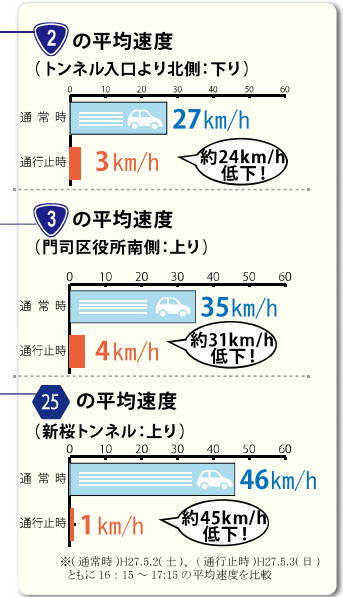
○関門トンネルの事故・落下物等による通行止め回数

年度	通行止め回数
H23	233回
H24	215回
H25	175回
H26	226回
H27	289回
合計	1138回

・5年間の回数 **1,138回**
・通行止め頻度 **2日に1回以上**



▲関門トンネルや高速道路が通行止時の旅行速度



▲主要区間の平均速度

関門自動車道や関門トンネルで交通事故が発生し、交通が遮断!
関門自動車道(上り線)は、約5時間20分通行止め
関門トンネルは、約1時間全面通行止めに!

関門橋・関門トンネルの通行止めによる弊害!

自動車部品の輸送に影響を及ぼします!

・1月の大雪で関門橋が通行止めになった際、関門トンネルへの迂回輸送を余儀なくされたが、フルトレーラーの通行許可を取得していなかったため、貨物を別のトラックに積み替える作業が発生し、余分な時間や人件費がかかりました。

出典: 輸送業者アンケート結果 (H28.3)

食料品は鮮度が命! 輸送における時間的制約は大きい!

・関門橋の通行止めで、四国の物流センターの納品時間(22時)に間に合わなかったため、輸送した貨物を返品され、廃棄代や運送代が荷主(食品メーカー)の損失となりました。また、返品となった貨物を持ち帰るため、帰りの便は予定していた貨物を輸送できず、多大な損失が生じました。

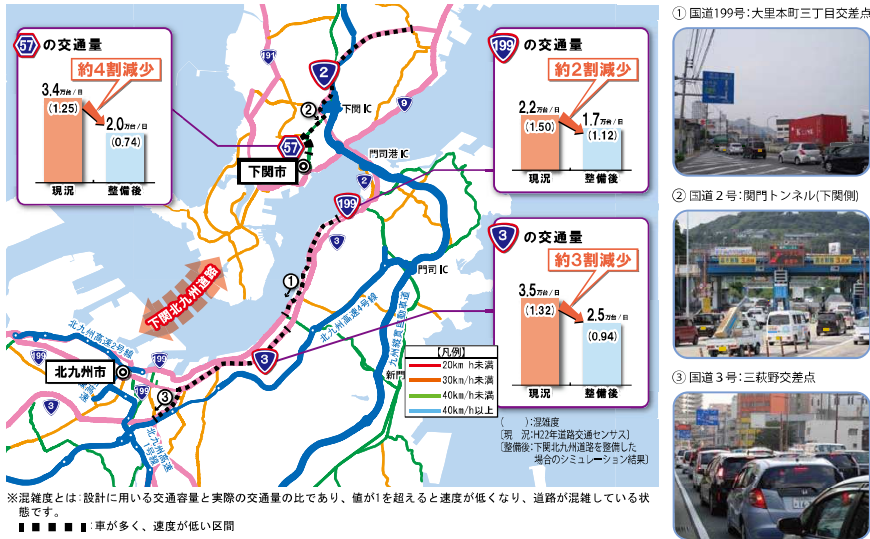
出典: 輸送業者アンケート結果 (H28.3)



下関北九州道路の整備効果 下関北九州道路が整備されれば

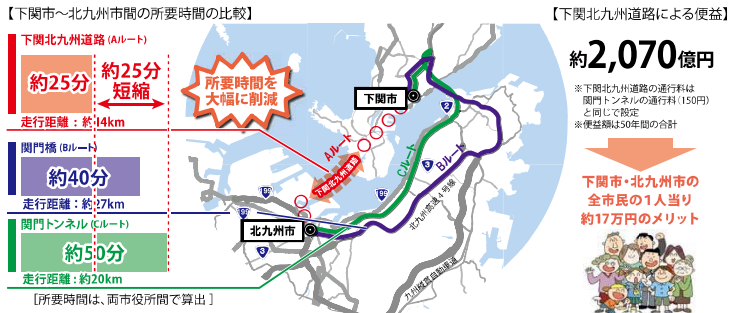
効果1 交通混雑の緩和が期待されます

- 下関・北九州地域では、幹線道路の慢性的な交通混雑が発生しており、地域の生活や円滑な物流に支障をきたしています。
- 下関北九州道路を整備することで、国道2号・国道3号・国道199号等から下関北九州道路に交通が転換し、**交通混雑している道路の区間が減少**します。



効果2 所要時間が短くなります

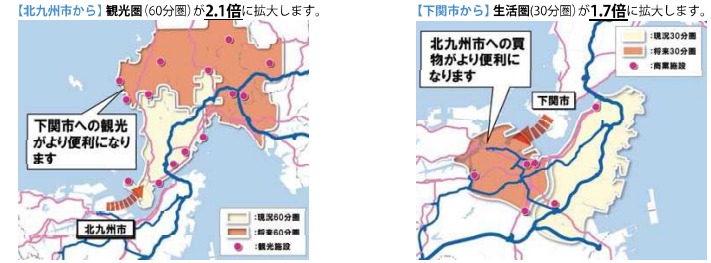
- 下関市～北九州市間の所要時間は、関門トンネルを利用すると昼間は約50分(約20km)です。下関北九州道路を整備することで、約25分短縮され、**所要時間は約25分(約14km)と半分**になります。(走行距離は3割減少)
- 道路の混雑の緩和や、走行経費の軽減などにより経済効果は、**50年間で約2,070億円**と試算されます。



地域の交通が大幅に改善されます。

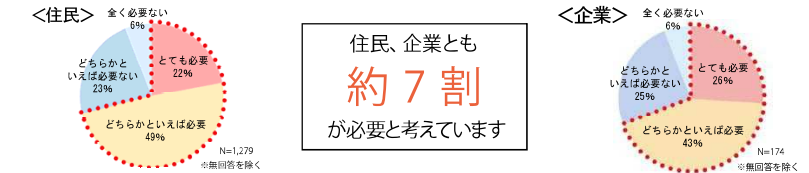
効果3 観光や買物がより便利になります

- 下関・北九州地域には、魅力ある観光地や商業施設が多数あります。下関北九州道路を整備することで**観光圏域や生活圏域が拡大**します。



下関北九州道路に対する期待の声

▼住民・企業アンケート



▼自動車メーカーや輸送業者の期待の声

安定した自動車生産体制を確保できます！



- ・完成自動車の販売店への安定輸送や部品調達先の選択肢の増加などが期待されます。
- ・下関北九州道路が整備されれば、安定した輸送経路の確保につながり、市場の拡大が期待されます。

出典:自動車メーカー・関連企業アンケート結果(H28,2)

食品輸送の安定化により、ライフラインの確保につながります！

- ・関門橋と関門トンネルの老朽化や、両方が通行止めになった場合、もう1本ルートがないと、九州からのライフラインは止まってしまいます。
- ・下関北九州道路が整備されれば食品輸送の安定化につながると思います。

出典:輸送業者アンケート結果(H28,3)

○住民・企業アンケートの概要

- | | | |
|---|--|--|
| 1.調査対象者及び調査方法
下関市及び北九州市の企業と、両市にお住まいの20歳以上の市民に対して、調査票を郵送にて配布・回収 | 2.調査期間
住民アンケート: H26.1.20～31
企業アンケート: H26.2.17～28 | 3.回答票数と回答率
住民アンケート: 1,357票 (3,400票配布) 39.9%
企業アンケート: 186票 (694票配布) 26.8% |
|---|--|--|

○自動車メーカー・関連企業アンケートの概要

- | | | |
|---|---|--|
| 1.調査対象者及び調査方法
福岡県、山口県、大分県の自動車メーカー5社に対して直接聞き取り
同3県の関連企業7/5社に対して調査票を郵送にて配布・回収 | 2.調査期間
自動車メーカー: H28.2.25
関連企業: H28.2.22～3.4 | 3.回答票数と回答率
自動車メーカー: 5票 (回収率: 100%)
関連企業: 183票 (回収率: 23.6%) |
|---|---|--|

○輸送業者アンケートの概要

- | | | |
|--|-----------------------|-------------------------------|
| 1.調査対象者及び調査方法
現地調査の結果、関門橋と関門トンネルを利用する頻度が高い企業11社に対して直接聞き取り | 2.調査期間
H28.3.11～17 | 3.回答票数と回答率
11票 (回収率: 100%) |
|--|-----------------------|-------------------------------|